

お互いさま

otagaisama

恵みあい、助けあう

特集

DWAT

災害時に二次被害を防ぐ
福祉の専門家DWATを派遣

クローズアップ

キッズタウン東十条保育園

保育のプロが全力で“子育て”を応援

キラキラ働き人

北東京エリア

遠見 強さん

南東京エリア

浦崎宏治さん

ケアホーム西大井

船橋美沙子さん

ケアホーム西大井

高山 章吾さん

2024 April

季刊誌(年4回発行)

NO.12



社会福祉法人 二aringen



派遣先の、いしかわ総合スポーツセンターに開設された1.5次避難所。DWATは支援が必要な人のテントを訪ね、ニーズに応じた対応や、2次避難先の調整などを行います。



災害時に 二次被害を防ぐ 福祉の専門家 DWATを派遣

能登半島地震で初めての派遣

2024年1月1日、石川県能登半島を襲った最大震度7の巨大地震。こうほうえんでは、鳥取県災害派遣福祉チーム(以下、DWAT)のメンバーとして、1月21日の第1クールから順次職員を派遣し、金沢市内の1.5次避難所で支援にあたりました。

DWATとは、Disaster (災害) Wellfare (福祉) Assistance (支援) Team (チーム)の略であり、災害時の二次被害を防ぐために、避難所等で支援や配慮が必要な人に対して福祉支援を行う専門家チームです。社会福祉士や介護福祉士などの複数の専門職種から編成され、1チーム5名程度で活動します。東日本大震災をきっかけに誕生し、鳥取県では2017年に設置されました。今回の能登半島地震が鳥取県チームにとって初めての災害地派遣になります。

お話を聞いた人



(左)介護老人保健施設さかい幸朋苑 施設長 中嶋 健児さん
(中)アザレアコートこうほうえん 主任 上田 紀行さん
(右)介護老人福祉施設さかい幸朋苑 課長 池淵美香さん

DWATの活動内容は、大きく言えば、避難所で支援が必要な人の困りごとを聞いて解決につながる福祉相談です。例えば、避難所で支援が必要な人の把握(スクリーニング)や、要配慮者のニーズの聞き取り(アセスメント)、2次避難先への受け入れや相談などのコーディネートなどを行います。避難所の福祉的ニーズは時間の経過とともに変化するので、フェーズに応じた支援が求められます。

混乱のさなかで活動の土台づくり

能登半島地震では、1月8日に1.5次避難所が開設され、さまざまな県から集まったDWATは、石川県DWATのリーダーのもと福祉相談担当、ラウンド(巡回訪問)担当、相談担当の3つの役割に振り分けられました。

DWATのメンバーは専門的な研修を受けて現地に赴きますが、混乱する被災地では臨機応変な対応が求められます。第1クール(1月21~26日)で派遣

された上田紀行さんは「研修とはまったく違い、マニュアルにはないことばかりでした」と振り返ります。第1クールが到着した時点では、1.5次避難所も混乱していました。「現地は高齢者や精神疾患のある方など、要支援者を把握できておらず、福祉ニーズが必要な人の判断が難しい状況でした」と上田さん。DWATチームも始動したばかりで、重複して聞き取りをしようとすることもあり、まずは活動を整理して土台をつくるのが求められました。「思うようにならなかった部分も多く、今回の経験を踏まえてもう一度行きたいです」と今回の経験を次に生かして被災地支援に貢献したいと考えています。

派遣された池淵美香さんは、データ担当とDWATの全体調整に従事しました。「第1クールがつくった土台を固めつつ、ブースを訪ねてきた人の相談業務を行っていました」と池淵さん。第2クールの相談窓口では、避難者ご本人からの相談に加えて、ご家族からの不安の声が複数寄せられました。「避難した高齢の親と一緒に住むことは難しい」「介護認定は受けていないが認知症ではないか」といった家族からの相談や、2次避難先のホテルを調整する旅行会社からの相談もあったといい、その都度、解決に向けて話し合い、行動しました。「これほどの非常事態ですから、本当に困って涙ながらに相談される方や、30分くらいお話しする方もいらっしゃいました。不安な気持ち

に寄り添えるように、とにかく傾聴を心がけていましたね」と振り返ります。チームからも刺激をもらい「自分にとっても大きな学びを得ることができました。今度派遣される時は違う役割も担当したいです」と話します。

医療・福祉の各支援チームの情報一本化

第3クール(1月29日~2月3日)に派遣された中嶋さんは、ラウンドを担当。支援が必要な高齢者はすでに2次避難先に移り、家族連れが多くなつていたといいます。テントを訪ねると、2次避難先を自分で探すものも知らずテントの中で待ち続ける人、荷物だけ残して入院中の人など情報の伝達・共有に問題がありました。避難所ではDWAT以外にもさま

ざまな医療・福祉の専門家チームが支援に入ります。例えば、リハビリ専門チームのJRWAT、看護師チーム、保健師チーム、また石川県庁のチームも動いており、第3クールではバラバラだった各データをひとつのファイルに一本化して、他チームとの横断的な連携が可能になりました。中嶋さんは2016年の熊本地震でも被災地支援に入った経験があり、「当時と比べたらかなり連携がとれるようになった」と進化を感じています。一方で、福祉の専門家、関係者だけでは限界があるともいいます。「2次避難先の受け入れの側や地域との連携が今後の課題。日頃から地域に向けた勉強会があれば」と、今後の地域との連携の必要性を訴えています。



第1クールの出発前には、鳥取県庁で出発式がありました。写真上:上田さんを激励する廣江晃理事長(左)、写真下:鳥取県庁から被災地に向けて出発する上田さん



第2クールまでは、インカムがなく、テントが並ぶ広大な体育館で担当者を見つけるために走り回る必要がありました。現地ではこうした想定外の問題が発生しては、その都度、臨機応変に対応することが求められました。



石川県DWATのリーダーのもと、全国から派遣されたDWATが連携してさまざまな業務にあたりました。

DWAT 活動報告

- 期間 令和6年1月21日~2月3日
- 訪問先等 石川県金沢市内に設置の1.5次避難所(いしかわスポーツ総合センター、県産業展示館)
- 依頼内容等 避難者(要支援者)のスクリーニング、アセスメント日常生活支援、避難所内環境整備等
- 派遣人数:鳥取DWAT 登録員
第1クール(1月21日(日)~1月26日(金))
アザレアコートこうほうえん 上田紀行
第2クール(1月25日(木)~1月30日(火))
介護老人福祉施設さかい幸朋苑 池淵美香
第3クール(1月29日(月)~2月3日(土))
介護老人保健施設さかい幸朋苑 中嶋健児
※今回の派遣は第7クールで終了



保育園の横を線路が走り、屋上にある園庭や保育室のたくさんの小窓から電車や新幹線を眺めることができます。



園舎はグッドデザイン賞も受賞した5階建てのモダンな建物。すぐそばの東十条駅では、園児たちの絵が展示されています。



通常保育では、いきいきと元気に遊ぶ子どもたちの声が園舎に響きます。



「子育て応援モデル事業」では、週1～2回の保育で少しずつ集団に慣れていきます。



保育のプロが 全力で“子育て”を 応援

「お母さんたちは、私たちが思う以上に話したいことがたくさんあると感じてきました。」「駅に近いのに保育園があったらいいのに……」。東十条保育園はそんな何気ない一言から、2011年にJR東十条駅の隣に誕生しました。線路沿いの園舎からは「はやぶさ」や「こまち」などの新幹線の姿が見え、園児たちはみんな電車博士です。

5階建ての園舎には通常保育園の他に、病気の回復期のお子さんを預かる病後児保育室すら、児童ができたのは、長年、同園で職員を育ててきた小林美央副園長の存在もありました。「副園長と何度も話し合いを重ね『東十条の職員たちならできる』と言ってくれましたので、私も決断できました」と全面的に信頼を寄せています。

また、保育園運営の点でもプラスになると判断。「保育を必要とする方の力になれず、いろいろな家庭と接することで保育士たちの学びにもなるはず。また補助金が支給されることで園を整備することもできます」と小林園長。地域貢献と人材育成、園の整備の3点が、実施を後押ししました。

第一期のスタートは昨年12月。定員12名のところ、89名もの応募がありました。「始まるまでどれくらい応募があるのかわかりませんでした。改めてニーズの高さを感じました」と園長と副園長は声をそろえます。保護者の応募理由もさまざまです。「いろいろな経験をさせたい」「家で子どもと2人きりで疲弊している」「兄弟がたくさんいて大変」「スキルアップや求職活動をしたい」……など、応募理由にはお母さんたちの切なる願いが記されていました。

**時代の変化に対応できる
保育施設でありたい**

「お母さんたちは、私たちが思う以上に話したいことがたくさんあると感じてきました。」「駅に近いのに保育園があったらいいのに……」。東十条保育園はそんな何気ない一言から、2011年にJR東十条駅の隣に誕生しました。線路沿いの園舎からは「はやぶさ」や「こまち」などの新幹線の姿が見え、園児たちはみんな電車博士です。

5階建ての園舎には通常保育園の他に、病気の回復期のお子さんを預かる病後児保育室すら、児童ができたのは、長年、同園で職員を育ててきた小林美央副園長の存在もありました。「副園長と何度も話し合いを重ね『東十条の職員たちならできる』と言ってくれましたので、私も決断できました」と全面的に信頼を寄せています。

また、保育園運営の点でもプラスになると判断。「保育を必要とする方の力になれず、いろいろな家庭と接することで保育士たちの学びにもなるはず。また補助金が支給されることで園を整備することもできます」と小林園長。地域貢献と人材育成、園の整備の3点が、実施を後押ししました。

第一期のスタートは昨年12月。定員12名のところ、89名もの応募がありました。「始まるまでどれくらい応募があるのかわかりませんでした。改めてニーズの高さを感じました」と園長と副園長は声をそろえます。保護者の応募理由もさまざまです。「いろいろな経験をさせたい」「家で子どもと2人きりで疲弊している」「兄弟がたくさんいて大変」「スキルアップや求職活動をしたい」……など、応募理由にはお母さんたちの切なる願いが記されていました。

**時代の変化に対応できる
保育施設でありたい**

「お母さんたちは、私たちが思う以上に話したいことがたくさんあると感じてきました。」「駅に近いのに保育園があったらいいのに……」。東十条保育園はそんな何気ない一言から、2011年にJR東十条駅の隣に誕生しました。線路沿いの園舎からは「はやぶさ」や「こまち」などの新幹線の姿が見え、園児たちはみんな電車博士です。

5階建ての園舎には通常保育園の他に、病気の回復期のお子さんを預かる病後児保育室すら、児童ができたのは、長年、同園で職員を育ててきた小林美央副園長の存在もありました。「副園長と何度も話し合いを重ね『東十条の職員たちならできる』と言ってくれましたので、私も決断できました」と全面的に信頼を寄せています。

また、保育園運営の点でもプラスになると判断。「保育を必要とする方の力になれず、いろいろな家庭と接することで保育士たちの学びにもなるはず。また補助金が支給されることで園を整備することもできます」と小林園長。地域貢献と人材育成、園の整備の3点が、実施を後押ししました。

第一期のスタートは昨年12月。定員12名のところ、89名もの応募がありました。「始まるまでどれくらい応募があるのかわかりませんでした。改めてニーズの高さを感じました」と園長と副園長は声をそろえます。保護者の応募理由もさまざまです。「いろいろな経験をさせたい」「家で子どもと2人きりで疲弊している」「兄弟がたくさんいて大変」「スキルアップや求職活動をしたい」……など、応募理由にはお母さんたちの切なる願いが記されていました。

**時代の変化に対応できる
保育施設でありたい**

北区「子育て応援モデル事業」 実施園第一号

施設紹介

キッズタウン東十条保育園

- 住所 東京都北区東十条3丁目18-40
- 電話 03-5902-7055
- 【子育て応援モデル事業】
- 定員 週2日 月・木曜日コース 4名
火・金曜日コース 4名
週1日 水曜日コース 4名
- ※2か月ごとに申込が必要
- 対象児 北区在住の0～2歳児クラスに該当するお子さん
- ※詳しくはHPをご覧ください
- HP <https://www.kohoen.jp/childcare/higashijujo/>



キッズタウン
東十条保育園
HP



「お母さんたちは、私たちが思う以上に話したいことがたくさんあると感じてきました。」「駅に近いのに保育園があったらいいのに……」。東十条保育園はそんな何気ない一言から、2011年にJR東十条駅の隣に誕生しました。線路沿いの園舎からは「はやぶさ」や「こまち」などの新幹線の姿が見え、園児たちはみんな電車博士です。

5階建ての園舎には通常保育園の他に、病気の回復期のお子さんを預かる病後児保育室すら、児童ができたのは、長年、同園で職員を育ててきた小林美央副園長の存在もありました。「副園長と何度も話し合いを重ね『東十条の職員たちならできる』と言ってくれましたので、私も決断できました」と全面的に信頼を寄せています。

また、保育園運営の点でもプラスになると判断。「保育を必要とする方の力になれず、いろいろな家庭と接することで保育士たちの学びにもなるはず。また補助金が支給されることで園を整備することもできます」と小林園長。地域貢献と人材育成、園の整備の3点が、実施を後押ししました。

第一期のスタートは昨年12月。定員12名のところ、89名もの応募がありました。「始まるまでどれくらい応募があるのかわかりませんでした。改めてニーズの高さを感じました」と園長と副園長は声をそろえます。保護者の応募理由もさまざまです。「いろいろな経験をさせたい」「家で子どもと2人きりで疲弊している」「兄弟がたくさんいて大変」「スキルアップや求職活動をしたい」……など、応募理由にはお母さんたちの切なる願いが記されていました。

**時代の変化に対応できる
保育施設でありたい**

お話を聞いた人

お話を聞いた人




(左)園長 **小林美樹さん**
(右)副園長 **小林美央さん**

小林園長は昨年4月に園長に就任し、小林副園長とともに本事業の受け入れ態勢を整備しました。

「経営実務検定試験」合格者にインタビュー

社会福祉法人の経営管理・財務資格「経営実務検定試験」の試験が2023年12月に行われ、こうほうえんからも東京エリアの職員が受験しました。合格基準は100点満点中70点以上でしたが、「経営管理」で2名、「入門」「会計3級」で各1名の職員が見事合格！合格者の皆さんが試験の感想を語ってくれました。

「経営実務検定試験」とは…

この資格は、社会福祉法人の運営に携わる人々が、業務に必要な専門知識を学んで財務や経営管理のスペシャリストを目指すための検定試験として2005年にスタートしました。社会福祉法人の制度および会計の基礎が出題される「入門」、会計分野の「会計3級・2級・1級」、法人経営の中核を担う人を対象とした財務管理と運営に必要な幅広い知識が範囲となる「経営管理」から構成されています。

苦手分野に挑戦！ 今後も学びを深めたいです

今回の資格取得は、会社や上司のすすめがきっかけでチャレンジしました。私が受けた「入門」は、社会福祉法人の会計や仕組みについての基本が出題されます。経理や会計をしたことがある人なら簡単な内容だと思っただけですが、私は数字に強くないので拒否反応が出るほど苦手。それでも過去の問題を解いて、文字と数字に慣れようと頑張ってみたところ「もう少し深めたい」と思えるまでに

なりました。また、同じ事業所内の高山さんと、試験仲間として声をかけ合えたこともモチベーションにつながりました。今後、上の級を受けるかは決めていませんが、学びを深めてみたいと思っていますし、予算や収益から、事業所や法人全体の状況を考えられるようになったとも感じます。こうした今回の資格取得で得たものを、これからのステップアップに生かしていきたいです。



プロフィール

【入門】に合格！

ケアホーム西大井 係長
ふなばし みさこ
船橋美沙子さん

2009年に介護職員として入職。現在は生活相談員として、ご利用者やその家族の相談業務に従事している。

試験を通じて経営の視点で 全体を見渡す力がつきました

介護職には介護福祉士という国家資格がありますが、総務や経営に参画する管理職には国家資格がありません。そこで、必要な知識を習得のためにも経営実務検定試験の資格取得がこうほうえんの中で推進されるようになりました。実際に、私が知識の必要性を感じたのは、法人本部から西東京エリア総合施設長に異動した時です。総合施設長は、保育から介護までエリア全体の事業の管理を担います。例えば、

予算の管理や執行、職員の入退職などです。事業所の数が多くなるほど、総合施設長は分析的な視点が必要求められます。これまで事務職や法人本部の人事に携わりましたが、試験勉強で改めて振り返りをして事業全体を経営の視点から考えるようになりました。また、各事業所の管理者がなかなか気づくことができない指標を見極める力も養って、今後に生かしていきたいです。



プロフィール

【経営管理】に合格！

北東京エリア総合施設長
つのだ つよし
邊見強さん

2001年、キッズタウンかみごとうに事務職で入職。法人本部勤務を経て、昨年7月から西東京エリア総合施設長。今年1月から現職。



プロフィール

【会計3級】に合格！

ケアホーム西大井 事務
たかやま しょうご
高山 章吾さん

2023年9月、「腰を据えて長く働きたい」と一般企業からこうほうえんに転職。ケアホーム西大井で事務を担当する。

将来的には2級、1級にも 挑戦していきたいです

昨年9月に一般企業から転職し、現在、ケアホーム西大井に勤務しています。西大井の事務は、私と事務長の2人。経理や総務などの幅広い業務を担当しています。一般企業と社会福祉法人では会計が大きく異なるので、今回の資格試験は特殊な規則や仕組みを勉強できる良い機会になりました。当初は、入職してすぐだったので、もう少し後からの受験だと思っていました。試験日のタイ

ミングなどもあり挑戦を決意。おかげで社会福祉法人の会計を全体的に理解することができ、結果的に良かったと思います。職場の雰囲気は穏やかで、良い人たちに囲まれているので、部署は異なりますが一緒に受験した船橋さんと「最近勉強はどうですか」と声をかけ合ったものです。「会計3級」を合格できましたが、今後他の事務の先輩たちに追いつきたいです。



プロフィール

【経営管理】に合格！

南東京エリア総合施設長
うらみ ひろし
浦崎宏治さん

長年、総合商社に勤務し、営業をメインに安全保障貿易や監査なども経験。2023年5月にこうほうえんに入職し、6月から現職。

社会福祉法人のガバナンスを 把握できました

昨年、長く勤めた総合商社を退職し、こうほうえんに入職。一般企業とは異なる社会福祉法人の仕組みに、自分自身のガバナンスの理解不足を感じました。幸いにも、「経営管理」の試験分野は財務管理とガバナンスだったので、試験勉強を通じて社会福祉法人の特殊な規則や全体像を把握できました。とはいえ、初めての分野ですから試験勉強は少々苦勞しました。休日や仕事後、特に試験

直前は集中して勉強する時間をつくり、合格することができました。こうほうえんに入って日は浅いですが、職員の皆さんと接していると、専門職としてのプロ意識の高さを強く感じます。思いやりの心を持った、丁寧で細かいやかな対応に感銘を受ける毎日です。地域社会になくてはならない存在として、地域の方に「困った時はこうほうえんに聞いたらいい」と頼っていただけるとうれしいです。

ニュース01

「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定されました

2024年3月11日、社会福祉法人こうほうえんは、経済産業省が推進する健康経営優良法人認定制度に申請し、昨年に引き続き優良な健康経営を実践している法人を表彰する「健康経営優良法人2024(大規模法人部門)」に認定されました。

健康経営優良法人認定は、経済産業省と日本健康会議が、地域の健康や職員の健康増進に先進的に取り組む優良な法人を表彰する制度です。

弊法人も地域に互恵互助社会を構築していくためには、まず働く職員自身が健康でなければならないと考え、積極的に健康づくり、働きやすい職場環境に取り組んでまいります。



ACTION! 健康経営ポータルサイト



ニュース02

経営デザイン認証の受賞について(東京地区_介護部門)

2024年2月22日、(公財)日本生産性本部が設立した経営デザイン認証委員会より、組織のありたい姿や変革課題等を「経営の設計図」に描き、明確化していると認められた組織を認証する「経営デザイン認証」の第6回認証組織の発表があり、「スタートアップ認証」10組織のうち1つに当法人の東京地区 介護部門が選ばれました。



■経営デザイン認証 スタートアップ認証

【組織名】社会福祉法人こうほうえん 東京介護部門

【本社所在地・業種】

東京都新宿区/福祉・医療サービス

【設立・売上・社員数】

1986年/18.6億円/297人

公益財団法人 日本生産性本部 HP



寄付者 一覧

※令和5年12月～令和6年2月に寄付をいただいた皆さま 寄付金合計額:1,973,000円

心温まるご寄付を賜り、深くお礼申し上げます。皆様から賜ったご寄付は、ご厚志に沿い「地域貢献事業」として使わせていただいております。

- List of donors and their contribution amounts, including individuals and organizations like 山崎一也様, 後藤裕輔様, etc.

ボランティア 一覧

貴重な時間をいただき、厚くお礼申し上げます ※令和5年12月～令和6年2月にボランティアにご参加いただいた皆さま

- List of volunteers and their activities, including singing, playing instruments, and community support.



法人本部事務局

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1400 TEL:0859-24-3111 FAX:0859-24-3113

東京事業本部

〒140-0015 東京都品川区西大井2-5-21 ケアホーム西大井こうほうえん内 TEL:03-6410-7365 FAX:03-6410-7364



2014年度日本経営品質賞大規模部門(鳥取地区/介護)受賞



こうほうえんはISO9001-2015(品質マネジメントシステムの国際規格)を認証取得しています



こうほうえんは社会福祉法人として初めておもてなし経営企業に選定されました



こうほうえんは社会福祉法人として初めてハイサービズ日本300選に選定されました

詳しくはHPへ



こうほうえん 検索 https://www.kohoen.jp